

第4学年 国語科学習指導案（話すこと・聞くこと）

指導者 大津町立室小学校 米多 康輔

1 単元名 報告します、みんなの生活（東京書籍 4年）

2 単元について

<教材観>

本単元では、調べたり考えたりしたことについて、資料等を提示しながら説明したり報告したりする活動をとおり、目的に合わせて分かりやすく効果的に伝える話し方を身につけることをねらいとしている。そこで本実践では、興味関心のある話題から自校や学級の実態をアンケート等で調査し、ポスターにまとめ、他校の友だちに報告する活動を設定した。どの班の報告が分かりやすかったかを定めることで、目的意識・相手意識をもたせることができる。また、分かったことや考えたことを他校の友だちへ報告するために、聞き手を意識し、筋道立てて話そうとすることが予想される。さらに、伝えたいことを効果的に伝えるため、相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりする話し方を身につけることが期待できる。

<児童観>

3年時に「町について調べて紹介しよう」で写真などを見せながら調べたことをグループで発表した。また、4年時の「案内係になろう」では相手の目的に合わせて、分かりやすい言葉で丁寧に話すことを学習してきた。

意欲的に取り組むことができる子が多く、本単元では既習事項を生かして活動することが期待できる。

<指導観>

単元における視点①について

本単元で身に付けさせる技能は「目的に合わせて分かりやすく効果的に伝える話し方を身につけること」である。この技能は大きく「選択する」「順序づける」の2つの思考の方法とつながりがあると考えられる。本単元をとおり、図表やグラフを取捨選択しながら使い、聞き手に分かりやすく筋道立てて話すことができるようにしたい。その必要感を引き出すために、「室小の友だちに分かりやすく報告しよう、わたしたちのこと」という報告会を単元のゴールとする。目的意識・相手意識を明確にし、子どもたちが資料を活用して分かりやすく話したいという意欲をもって学習に臨むことができるようにしたい。

本時における視点①について

本時では、聞き手に分かりやすい発表構成を理解することを目標としたい。導入では各自が作成した資料を使って実際にペアで報告し合い、うまく報告できない体験をさせ、聞き手に分かりやすく話したいといった必要感を抱かせる。その後、報告した感想を交流する中で、必要な事柄やその順序に気づかせる。展開では、2つの例文を提示し、どちらの発表構成が分かりやすいかを比較させる。そして、選んだ理由を述べ合う中で、筋道立てた分かりやすい発表構成のポイントを押さえる。

本時における視点②について

本時の導入では、ペアで報告し合ったり、展開では例文のよさをペアやグループで話し合ったりするなど、随所に対話の場を設け、全員に発言する機会を保障するとともに、考えを共有化させる。

3 単元目標

- 図表やグラフを用いて発表することに興味を持ち、分かりやすく工夫して話そうとしている。
(関心・意欲・態度)
- ◎ ポスターの図表等を用いて、理由や事例を挙げながら、筋道を立てて話している。(話すこと・聞くこと)
- 聞き手に分かりやすいように、話す速さや間の取り方、立つ位置、ポスターの示し方などに注意して、適切な言葉遣いで話している。(話すこと・聞くこと)
- 調査結果や結果から考えたことを正確に伝えるために、ポスターに整理している。(書くこと)

4 指導計画(10時間扱い)

次	時	学習活動	教師のかかわり	評価規準
一	1	○学習課題をつかみ、単元の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の有無によって分かりやすさが違うことや資料の種類と種類ごとのよさを考えさせる。 ・ポスターの完成形を示したり、単元のゴールを確認したりすることで、見通しや目的意識、相手意識をもたせる。 	○図表やグラフを使って発表することに興味をもち、進んで取り組もうとしている。 (関・意・態)
		追究課題 室小の友だちに分かりやすく報告しよう、わたしたちのこと		
二	2・3	○話題を決めて、アンケートを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート作成の際、結果を予想させておき、報告に活用できるようにする。 ・回答者が答えやすいように、質問の仕方や回答欄を工夫させる。 	○話題を決め、調べたいことについて話し合っている。 (話・聞)
三	4・5	○結果を整理して、発表に用いるポスターを作る。 ○資料によって話し方が異なることを知る。	・ポスター作成の負担を軽減できるよう、資料のひな形となるワークシートを用意する。表、ランキング、グラフ等、数種類のひな形の中から、必要なものを選び、用紙に貼りつけてポスターを作成できるようにする。	○アンケート結果や結果から考えたことを正確に伝えるためにポスターに整理している。(書)
	6(本時)	○聞き手に分かりやすい発表構成を考え、発表シートを作る。	・2つの例文を比較し、どちらが分かりやすく報告しているか選び、その理由を話し合うことで、筋道立てた発表構成に気づくようにする。	○聞き手に分かりやすい発表構成を理解している。 (話・聞)
	7	○資料を用いながら話す練習をし、発表の仕方について助言し合う。	・グループで発表の仕方を助言し合う場面を設ける。その際、話す速さや間の取り方のほか、ポスターに対する立ち位置や資料の指し方など、助言し合う観点を与える。	○聞き手に分かりやすいように工夫して話し、それに対して感想や質問をいうことができる。 (話・聞)
四	8・9・10	○テレビ電話を用い、班ごとに報告し合い、分かりやすい班を決める。 ○単元の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手も積極的にポスターを使って質問したり感想を述べたりするよう促す。 ・他校の報告をテレビ電話で見たり、単元を振り返ったりし、友だちの発表の仕方を見てよいと思ったところやできたことを発表させ、学びを実感させる。 	○筋道立てて分かりやすく話したり、自分と比べながら聞いて質問や感想を述べたりしている。 (話・聞)

5 本時の学習（6/10）

(1) 目標

2つの例文を比較し、どちらが分かりやすいか検討し合うことをとおして、聞き手に分かりやすい発表構成を理解することができる。

(2) 展開

時間	学習活動	教師のかかわりと評価	備考
5	1 前時を振り返り、本時の課題をつかむ。	○実際に資料を使ってペアで報告し合い、うまくいかない経験をさせることで、うまく話したいという意欲をもたせる。	学習計画表 各自作成した資料 (ポスターの縮小版)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 学習課題 聞き手に分かりやすい発表の構成を考え、発表シートを作ろう。 </div>			
25	2 聞き手に分かりやすい発表構成を考える。 (1) 必要な事柄やその順序を考え、出し合う。 (2) 2つの例文を比較し、どちらが分かりやすいか考え、発表する。 (3) 意見の書き方の例を知る。	○報告後の感想や例文の提示から足りないことを出し合わせ、必要な事柄や分かりやすい構成の順序に気づかせていく。 ○2つの例文のどちらが分かりやすいか選んだ理由を述べ合うことで、筋道立てて話すのに必要なことに気づかせていく。 <思考方法：比較する> ○ペアやグループでの対話を入れ、選んだ理由を話し合うことで、自分の考えを整理したり、聞くことで考えを広げたりできるようにする。<場の工夫：ペア（グループ）> ○理由を述べ合わせる際、例文のよさに着目させる発言を取り上げ、筋道立てて話すことについて思考を深める。<発言のコーディネート>	(ポスター例、発表原稿例文) 動画(AB) 発表原稿(例文 AB) ワークシート
10	3 結果に対する意見を書く。	○分かりやすい発表構成のポイントを図に表して板書し、視覚化・共有化することで、発表シートを作る際の手立てとする。 ○完成した発表シートをペアで読み合い、ポイントを含んだ構成になっているか確認し合う。	発表シート 各自作成した資料 (ポスターの縮小版) 図を示した広用紙
5	4 本時の学習を振り返る。	○発表構成を図に表し、穴埋め形式で言葉を入れていき、筋道立てた発表の構成を押さえる。	ワークシート